

鳥獣被害対策について集落ぐるみで取り組みましょう！

野生鳥獣は、集落や農地に「**エサ**」があるから出てきます。

☆ 鳥獣にとっては農作物は魅力的な「エサ」

被害があるということは、エサを与えている状態

☆ 食べられても被害と感じない放置している農作物が鳥獣のエサ場になっている

農作物の収穫残さ、放棄果樹、必要以上に栽培＝エサ

☆ 隠れる場所がある

雑草地などは、身を隠しながら集落に出ることができる

◎ 鳥獣にとって①餌が少なく、②苦勞が多く、③危険も大きい場所にする！

これら環境改善だけで被害は大きく減少します。



集落の様子を
伺うサル

ナスを強奪する
サル



効果的な対策は、個人よりも集落（集団）で取り組むこと！

★ 地域の状況に応じて総合的に被害を受けている住民自らが対応すること。

★ 個人ではなく集落機能を生かした集落ぐるみの対策により、集落、農地を野生鳥獣のエサ場にしないことが重要です。



廃棄農作物に
群がるイノシシ
(食べる⇒繁殖)

集落で取り組むにはどうすればよい？ その順序は？

① みんなで勉強

鳥獣被害の研修会をする。鳥獣の性質を知る。

② 環境改善

守れる集落・農地づくり。

放置果樹や農作物残さなどのエサになるものを無くす。

③ 侵入防止

維持管理がしやすい効果的な囲いの設置や追い払い。

④ 捕獲

どうしても防ぎきれない場合の捕獲に農家も参加する体制。

※ ①、②が特に重要！（③、④から始めると失敗することが多い）



まず、鳥獣害について勉強

自分達の地域は、
自分達で守る！

目標は、野生鳥獣が山から
出てこない環境を作ること！